



心齋らの品位はいずこへ？！

心齋橋筋商店街ドラッグストア戦争

コロコロと店舗が変わる心齋橋商店街。最近ではほとんどの土地所有者はその上での商売やめて、ビルを建て替えるなどしてテナントに賃貸して地主となってしまっている状況です。それでもテナントはコロコロ変わる始末。ここ数年で目立っているのが「ドラッグストア」で、道頓堀～長堀の650mの間に9件のドラッグストアが存在します。松前屋の3軒ほど隣にある『コクミン』とその真向かいにある『マツキヨ』のガチンコバトルについては以前にも通信で触れていますが、それだけでは留まらず！！そのマツキヨの1軒挟んだ隣には新規の『ツルハドラック』、松前屋の北側のアセスビルにはさらにまた『マツキヨ』ができました！心齋橋商店街は今やドラッグストア街になっております。

このドラッグストアの場合は、小さくとも400平米は必要で、ここ心齋橋では家賃も相当なはず。ちなみに最新型のアセスビルの『マツキヨ』の場合は、月家賃は400~500万円は下らないはずといわれています（不動産屋さんの言）。



社長室からのマツキヨ レジ風景

出店側は外国人観光客目当てなのでしょうが、2~3年前のことを思うと観光客の数は若干落ちてきて、さらに帰国時に税関での課税問題もあって、購買量や額は激減しています。こんなに高い賃料でペイできるのか、我が社長室から見えるマツキヨ新店舗のレジはいつも閑散としておりますが…。みているこちらがハラハラします。観光バスの到着口にあたる堺筋・道頓堀にある『スギ薬局』の場合、3年前は脅威の月商10億円！といわれていましたが、今では1億5~6000万円くらいようです。以前は添乗員が目印として棒にぬいぐるみをくくりつけて、手旗のように掲げていたのが何本も人だかりの中で見えましたが、最近は個人ツアーが多いのかあまり見なくなりました。

外国人観光客は“爆買い”にはもう飽きて、今はエステやヘアカットなど質の高い“サービス”や“おもてなし”、“体験する”というものを求めて日本を訪れるとよく聞きます。観光客の欲求も成熟していっている中で、今更爆買い狙いのドラッグストアを商店街いっぱいにちりばめている心齋橋筋の今後の行く末が心配です。

大阪御堂筋ランウェイ 2016

11月20日、大阪のメインストリートである「御堂筋」本町から心斎橋までに400メートルを超えるレッドカーペットによるランウェイが出現。大規模なイベントが催されました！MCの藤井隆をはじめ、総勢 300 名以上の出演者が会場を盛り上げました。

日本を代表する写真家であり映画監督でもある蜷川実花さんディレクションブランドの和装コレクションや、その他様々なファッションショー、ダンスやストリートパフォーマンス等による演出が行われ、去年のそれとは比べ物にならない力の入れようでした。



しかし、なんといっても一番盛り上がったのはこのイベントの目玉である「メダリストリレーパフォーマンス」。選手は陸上男子400メートルリレーメダリストである山縣亮太（セイコー）、飯塚翔太（ミズノ）、桐生祥秀（東洋大学）、朝原宣治（大阪ガス）。さらに、リオで銀メダルを獲得した日本チームが実際に使ったバトンにより、リレーパフォーマンスが行われました。4人は、本番さながらの勢いとバトンワークで御堂筋を駆け抜け、観客からは大きな歓声が上がりました。

御堂筋の夜を飾るイルミネーションの点灯式も行われ、毎夜1月9日まで夜を彩る地域となっています。皆さんも一度素敵な夜を経験してください。



健康法師の独り言 パート 72

うつ病シーズン到来！

もう夕方5時前にはすっかり暗くなって、日照時間の減少が顕著になってきましたね。ともすれば心配なのが『うつ病』。日照時間が少なく寒くもなると活動的でなくなり、心配になってきます。（以前の私は、暗い時間帯こそ活発でしたが、まあそれはさておき……）

『うつ病』は、まさかの人が、まさかのタイミングでなってしまうものです。情報によれば、人生の中で『うつ病』を経験する人は15人に一人という統計があります。しかし、その瞬間でも推計で300万人が『うつ病』を発症しているそうです。しかし、その内の70万人しかお医者さんへ行っていないらしく、残りの230万人は病気とも思わず、うつうつとした状態で我慢して生活しているということになります。いけませんねえ。

やる気のない状態、体重が急に落ちてきた、体に変にだるい、不安感や焦燥感、肩こりや首凝り、夜眠りつけずに朝早く目覚める、変に自分が悪いと思いつつ等々、が4週間も続くと、これは医者に行つてストレスチェックをしてみたらわねばなりません。心の病とはいえ、脳の状況がこういった事を引き起こす、れっきとした脳の病気です。昔は精神病扱いされていましたが、今や心療内科として多くの人が訪れています。病気ですので恥ずかしいものではなく、早い治療が望まれます。何せ、自分がひどくしんどいので、早く解放されたいことだと思います。

私も3年ほど前に4ヶ月間の『うつ病』（男子更年期障害）を経験して、この『うつ病状況』なるものを体感しました。体感した人間でなければ分からないこの辛さ……。家族にも社員にも迷惑をかけます。（社長がおとなしく助かっていたという社員中には居りましたが……）社員の中にも発症したかと思える者が出たときには、私の薬を飲ませて落ち着かせ、即座に医者へ送り込みました。十分に理解しますので、仕事の負担を軽減して、やんわりと治療させています。責任感の強い人やまじめな人、優秀で負け知らずだった者ほど発症しやすいともいえます。

一方で、これを向かえる心療内科医のほうですが、ゆるりと話を聞いたりして、とても精神の専門科らしい『ふわあ〜』とした話し方をされますね。こうして症状をジャッジして薬を処方されるだけ。机と椅子さえあれば開業できるという、まるで設備投資がいらぬ心療内科……。『こりや、儲かるジャンルやわ〜』、とうとうつとしたものでした。牧村先生、その節にはお世話になりました。ガツリと儲けてください。松村はこの冬、元気でおります……。合掌

編集後記

皆さま、今回の通信はいかがでしたか？ドラッグストアが異様に多い心斎橋筋商店街ですが、靴屋も同じように増えてきています！工事しているなどと思ったら、大概靴屋かドラッグストア、、、どんどん変わっていく心斎橋に我々も困惑中です！！ 松村

